

令和5年度（第2回）新人訪問看護職員研修プログラム			
目 標 訪問看護に必要な基本的知識・技術・態度を修得する。			
月日／場所	時間	内容	時間
9月19日 (火)	9:30～10:00	開講 オリエンテーション	30分
	10:00～12:30	【講義】在宅におけるフィジカルアセスメント ・在宅におけるフィジカルアセスメントの意義 ・フィジカルアセスメントに必要な知識と技術 ・身体各部のフィジカルアセスメント（呼吸・循環・意識障害） ・緊急時の対応	講義 2時間 30分
	13:30～16:30	【演習】在宅における観察とフィジカルアセスメント、緊急時の対応 ・呼吸の観察 ・循環の観察 ・意識レベルの観察 ・救急蘇生法	演習 3時間
9月20日 (水)	9:30～12:30	【講義】在宅におけるスキンケア ・スキントラブル（脆弱な皮膚、褥瘡、ストーマなど）のアセスメント 【演習】在宅におけるスキンケア ・スキントラブル（脆弱な皮膚、褥瘡、ストーマなど）のケア	講義 演習 3時間
	13:30～16:30	【講義・演習】褥瘡予防の援助 ・ポジショニングと体位変換	講義 演習 3時間
10月12日 (木)	9:30～12:30	【講義】在宅における摂食・嚥下の援助 ・嚥下の機能とメカニズム ・栄養状態のアセスメント ・摂食、嚥下障害の援助	講義 3時間
	13:30～16:30	【演習】摂食・嚥下ケアの看護技術 ・摂食嚥下訓練 ・口腔ケア 【演習】在宅における栄養管理の技術 ・胃瘻・腸瘻の管理 ・経管栄養	演習 2時間 30分
10月13日 (金)	9:30～12:30	【講義】訪問看護師に必要な法律や制度 ・訪問看護制度の概要 ・訪問看護サービスまでの流れ ・訪問看護に関する制度（介護保険/医療保険） ・介護費/医療費に関する補助	講義 3時間
	13:30～16:30	【講義】在宅における排泄援助 ・排泄のアセスメントと援助 ・生活に密着した排泄ケア（環境調整） ・排泄障害（排尿、腸機能障害）の援助 ・排泄用具の活用方法（介護者への援助） 【演習】在宅における排泄援助の技術	講義 演習 3時間

月日／場所	時間	内容	時間
10月16日 (月)	9:30～12:30	【講義】在宅における酸素療法 ・呼吸のアセスメントと援助 ・在宅酸素療法（HOT）とは ・酸素供給機器の特徴 【講義】在宅人工呼吸療法 ・在宅人工呼吸療法の適応、条件と禁忌 ・在宅用人工呼吸器の特徴 ・CPAP療法リハビリテーション看護の技術	講義 3時間
	13:30～16:30	【演習】呼吸器疾患のある療養者への看護技術 ・排痰法（体位排痰法・スクイーピング・吸引） ・気管カニューレの管理 ・酸素供給機器（HOT）の管理 ・在宅人工呼吸器の管理	演習 3時間
10月24日 (火)	9:30～12:30	【講義】在宅における薬物療法・輸液療法の援助 ・服薬管理 ・インスリン自己注射 ・中心静脈栄養法（体外式カテーテル、皮下埋め込み式ポート・カテーテル） 【講義】在宅療養における疼痛コントロール ・疼痛の種類と特徴 ・疼痛アセスメントの方法 ・疼痛管理の評価 ・モルヒネの種類と管理方法 ・療養者、家族への指導	講義 3時間
	13:30～16:30	【演習】輸液管理 ・中心静脈栄養法（体外式カテーテル、皮下埋め込み式ポート・カテーテル）の管理 ・末梢輸液ラインの確保（静脈ライン）と固定	演習 3時間
10月25日 (水)	9:30～12:30	【講義・演習】 在宅における認知症高齢者と家族の対応技術 ・認知症高齢者と家族の特徴 ・原因疾患と症状 ・倫理的配慮	講義 演習 3時間
	13:30～16:00	【講義】在宅終末期にある療養者への支援 ・終末期ケアの必要性和意義 ・終末期の在宅療養における特徴的問題 ・終末期ケアに必要なコーディネーションとケアマネジメント ・在宅における終末期ケアと看取りの援助 ・在宅におけるエンゼルケアの役割 【講義】終末期の各期におけるケアの目的と療養者・家族への援助 ・準備期、安定期、臨死期、死別期 【演習】臨終時の調整と家族支援 ・調整のためのコミュニケーション ・グリーフケアの方法	講義 演習 2時間30分
	～16:30	まとめ アンケート 閉講 受講証明書交付	30分

※新型コロナウイルス感染症により、プログラム内容の順番や方法を変更する可能性があります。